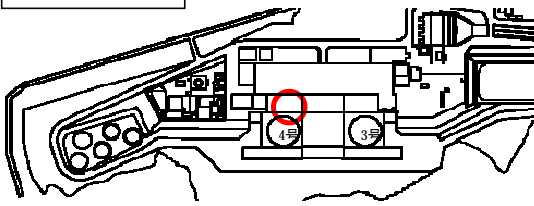
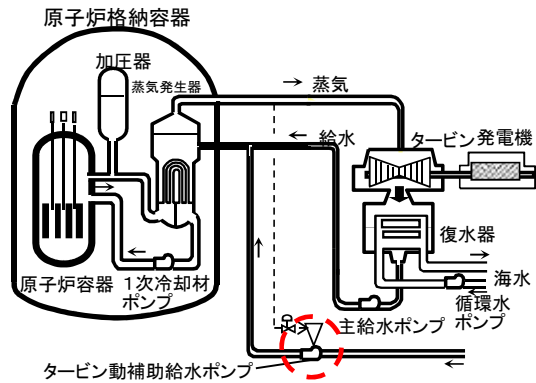


図-4 タービン動補助給水ポンプの運転上の制限の逸脱

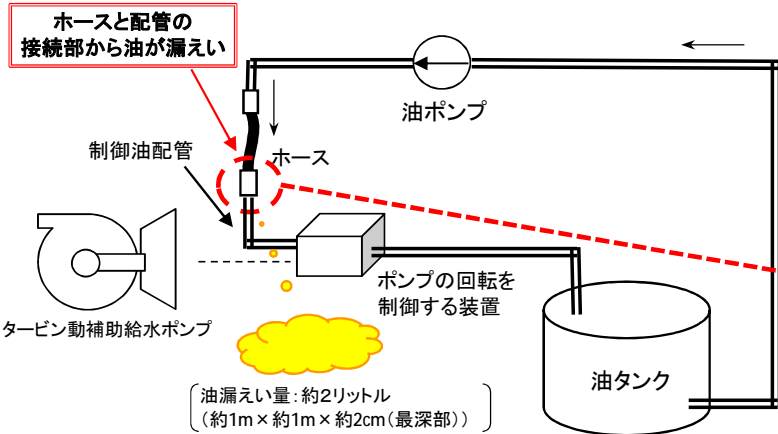
現場状況図



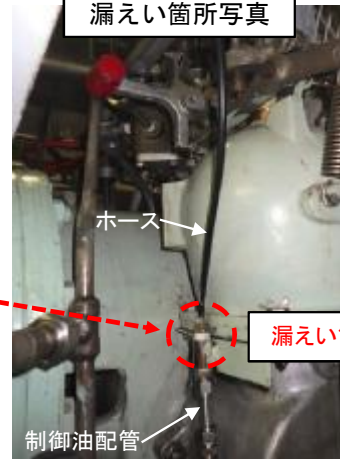
○ 発生場所: 4号機中間建屋(非管理区域)  
タービン動補助給水ポンプ室(EL.-2.0m)



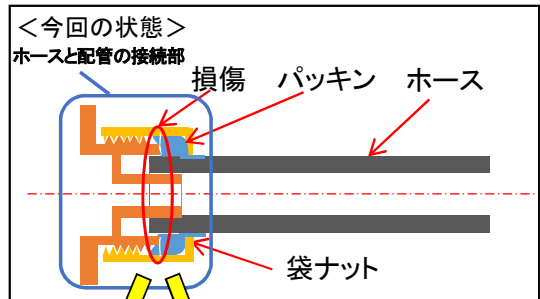
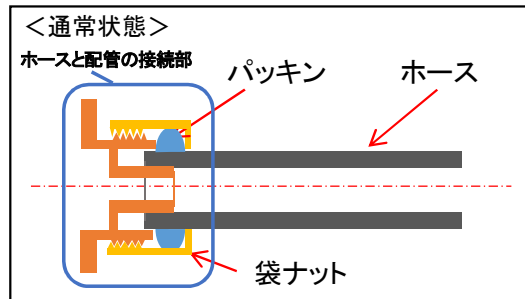
タービン動補助給水ポンプ制御油系統概略図



漏えい箇所写真



油漏えい推定メカニズム



- 袋ナットを締めすぎたことにより、袋ナット内でパッキンが損傷。
- その後の定期的なポンプ起動試験(1回/月)による圧力変動により、損傷部分が拡大し漏えいに至った。

【パッキンの仕様】

- ・材質:テフロン
- ・サイズ:(外径)約9mm (厚み)約1.5mm (幅)約2mm

破断面  
割れ



原因

タービン動補助給水ポンプの分解点検後に、制御油系統の配管とホース継ぎ手部を接続する際に、袋ナットを締めすぎたことにより、パッキンが損傷し、その後の定期的なポンプ起動試験による圧力変動により、損傷部分が拡大し、漏えいに至ったものと推定しました。

対策

- ・当該漏えい箇所のパッキンを新品に取り替えました。
- ・制御油系統の配管とホース継ぎ手部を接続する袋ナットの締め付けに関する具体的な方法および注意事項について、作業手順書に反映しました。